

# みんなの ひろば

オホーツク地域青年林業士に就任  
おだ よしたか  
**尾田 美敬さん (中雄武)**

「未来に繋げていくモノづくり」



このほど、オホーツク総合振興局長から「オホーツク地域青年林業士」に認定された北振種苗有限会社社長の尾田美敬さん(41歳)。「身の引き締まる思いですし、今まで以上に責任感を持って業務に取り組みたい」とその心境を語った。

オホーツク地域青年林業士は、持続的な森林資源の維持・造成を目的に創設された制度。森林づくりに強い熱意を持ち、指導力のある林業後継者が各地で認定されている。尾田さんはこれまで、「良

い苗木を作ることが山づくりの基本」という考えを大切に、造林用苗木の育成や販売を手がけてきた。「トドマツ、カラマツ、アカエゾマツなどの樹木を種から育てて、苗木を販売しています。早いもので2年、時間がかかるものだと5、6年ほど生育して出荷します。天候には特に気を配っています。苗畑に霜が降ると生育に悪影響が出ますし、乾燥している時は苗畑に水をまいて、湿度を保たなければなりません。苗木を育成する中で特に難しいのは根切りです

ね。根を切ることで苗木が必要以上に生育するのを抑えるのですが、タイミングを間違えると規格から外れて売り物になりません。手間がかかる分、出荷する時の達成感は大きいですね」と自然相手の仕事であるがゆえの難しさを話してくれた。

林業普及活動の一環として、昨年は小学生に林業体験を実施。「苗木の育成方法を紹介し、雪を利用した低温倉庫の見学やポットに苗を植えつける作業などを体験してもらいました。子どもたちには林業の仕事を知ってもらえる良い機会になったと思います」と振り返る。

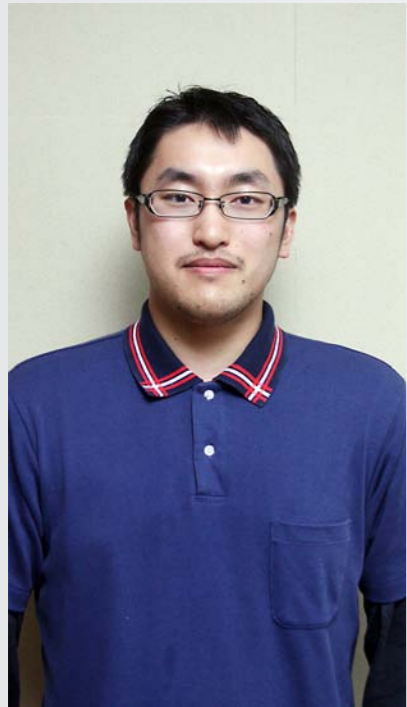
尾田さんは林業にかける思いについて「先人から受け継いできた山を維持し、発展させることが自分の使命だと思っています。林業は未来に繋げていくモノづくりであるという思いを大切にこれからも仕事に取り組みしていきたいです」と話してくれた。

クローズアップ  
まちなひと

## フレッシュトーク

特別養護老人ホーム雄愛園勤務 **水山 隆文さん**

日々の業務を通じて成長していきたい



「通常の業務は利用者の入浴や食事の介助です。肉体的労働が多く、勤務中は常に利用者の方に気を配らなければならぬので大変な仕事ですが、ずっと続けていきたいです」とその思いを話す。

昨年の4月から特別養護老人ホーム「雄愛園」に勤務している水山隆文さん(23歳)。函館市(旧南茅部町)出身。雄武町の印象について「子どものころに住んでいた町と雰囲気は似ていて、落ち着きますね」と話してくれた。

高校生の時から福祉や介護の仕事に興味があったという水山さん。大学進学後、介護の仕事に就くことを決めた理由について「実習先の老人ホームで、利用者の方々に『ありがとう』と声をかけていただいたことや笑顔を見た時に、介護の仕事にやりがいを感じました」と振り返る。

今後について「来年度は介護福祉士の試験に合格することが目標です。日々の業務を通じて成長できるように、ひとつひとつ丁寧に仕事に取り組みすることで細かいミスをなくしていきたいです」と話してくれた。

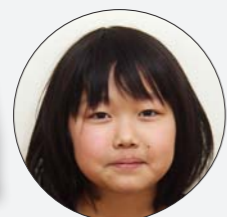
◆趣味 料理、ドライブ  
◆性格 マイペース  
◆好きな女性のタイプ 引っ張ってくれる年上の人

## 小さな美術館

沢木小学校



↑「マリンパークペンギンとおさんぽ」

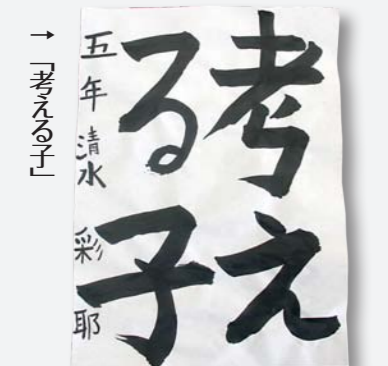


村上 来花さん(3年)

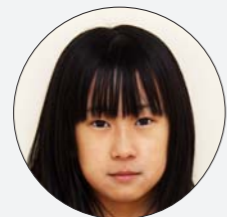
→「光」



館山 友翔くん(3年)

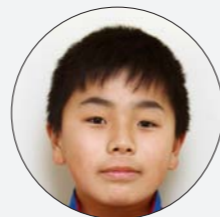
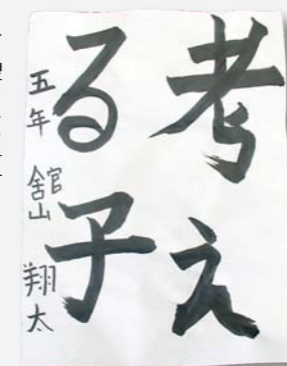


→「考える子」



清水 彩耶さん(5年)

→「考える子」



館山 翔太くん(5年)

※前年度の学年で記載しています。

## わんぱくキッズ

おおきくなったら  
～若草保育所～



さの  
たいようくん

キョウリュウジャー



ふじしま  
なぎさちゃん

モデル



いけだ  
りくくん

モーターに乗る人